

# 看護ひるしま

広島県看護協会報

2018  
November  
No.222

## 第49回日本看護学会-看護教育-学術集会

未来をつかむ！ Chance Challenge Change で自ら成長する看護職



交流委員会  
「子育て奮闘記」  
「チャレンジしよう！看護研究」

「認定看護師制度のさらなる発展に向けて！新たな認定看護師制度！」  
「未来を自分でつかむ！自ら成長する看護職！」

## 第49回日本看護学会 —看護教育—学術集会開催

【訪問看護事業】  
“地域を看護する”訪問看護  
【広島県健康福祉局からのお知らせ】  
今年度は業務従事者届の実施年度です  
子育て奮闘記・学童期の子育てQ&A  
研修会レポート～認知行動療法基礎編  
認定看護師が教える看護のコツ 川本雪江  
支部活動報告～広島北支部、廿日市支部、三原・尾道支部  
助産師職能委員会・看護師職能研究会報告  
准看護師研修会報告

【Information】  
広報委員のおすすめ書籍  
研修会のご案内

広島県看護協会のロゴマークであるハートのイメージを、日本看護学会-看護教育-学術集会のスタッフが両手で作って記念撮影。



Hiroshima Nursing Association  
(公財)広島県看護協会  
会員数/合計19,822人  
(平成30年11月1日現在)

# 第49回 日本看護学会 -看護教育-学術集会

第49回日本看護学会—看護教育—学術集会を終えて

8月16日、17日の両日、第49回日本看護学会—看護教育—学術集会が、広島市の国際会議場で開催され、3,811名の参加者があり、盛会に終了できました。

学会準備委員の皆さまには、約1年半にわたっての準備、運営にご尽力いただきましたことを心から感謝申し上げます。また、広島県内の多くの施設から、協力員として職員の方を派遣していただきましたことに、お礼を申し上げます。

口演発表80題、示説221題のプログラムを提供いたしました。どれもメインテーマにふさわしい内容で、誰もが関心をもって参加され、実りのある学会であったと確信しております。

最後になりますが、日本看護協会の、学会長 福井トシ子様、担当理事 川本利恵子様はじめ、学会担当の皆さまには、懇切丁寧なご指導を頂きましたことに深謝申し上げます。



第49回日本看護学会—看護教育—学術集会 会長 川本 ひとみ



公益社団法人日本看護協会 福井トシ子会長挨拶

## 未来をつかむ！ Chance Challenge Changeで 自ら成長する看護職



第49回日本看護学会—看護教育—学術集会を、3,811人の参加者にご来場いただき、8月16日、17日に広島国際会議場で開催しました。被爆からの復興を支えた広島東洋カープの「C」をメインテーマに使い、Jリーグ3度優勝を遂げたサンフレッチェ広島の力強さから、未来をつかんでもらえるよう描いた企画は盛りだくさんでした。初日には台風の余波による落雷で口演中の全映像がダウンし、安佐北区には避難指示が出るほどの一時的な豪雨に見舞われましたが、翌日は一転した猛暑で、この夏の広島をまさに象徴するかのような学会でした。学会成功裏の背景には、何より、広島県看護協会会員、事務局、関係者の皆様の結束力に恵まれたお陰です。心よりお礼申し上げます。

第49回日本看護学会—看護教育—学術集会準備委員会 委員長 中谷 久恵

## 抄録選考について

今年度から文字数が2,000字から1,000字に変更になり、登録後に修正が必要な抄録がありましたが、例年より50件以上多い300件を超える演題が申請されました。口演80題、示説221題を採択し、欠席等4題を除く全演題が無事に発表を終えました。選考時だけでなく発表時に利益相反の説明の追加や病院が特定されない表現への修正をお願いした演題が数件あり事前の周知方法が次年度の課題となりました。発表者の所属は病院6割、大学、専門学校各2割、研究方法は調査研究6割、面接、介入等各2割でした。文献研究も10件あり9件が大学・専門学校の発表者でした。今後、十分な文献検討から精度の高い研究へ発展させることとより多くの発表を期待したいと思います。

第49回日本看護学会—看護教育—学術集会 抄録選考委員会

委員長 松森 直美



演題発表(口演)会場



示説会場

## 協力員感想

社会医療法人里仁会  
興生総合病院  
湯浅 敏充

今回、2日間で関係者を含めて3,811人の参加がありました。私は協力員として参加し、会場運営をさせて頂きました。多くの参加者が来場され大変な事もありましたが、運営を行いながらも一部の講演も聞くことができ、興味のある講演も多く、とても楽しく行う事ができました。今回の学びを現場の教育に活かしていきたいと思っております。

広島大学病院  
羽生 直樹

本学術集会では、協力員として口演発表者・座長受付を担当いたしました。参加者の皆様が笑顔で会場を後にされる姿を見て安堵したと共に、学会成功の陰には、企画運営者の方々の連携と努力があることを学びました。地元広島での学術集会運営に携わる機会を得て、貴重な経験をさせて頂きました。

県立広島病院  
住岡 美菜子

今回協力員として学会に参加し、フェニックスホールでの舞台誘導・舞台転換を担当しました。そして、学会を運営するためには、多くの人々の協力が必要不可欠であるということに改めて実感することができました。私自身どれほどの役に立てたのかはわかりませんが、これから院内研修や勉強会の企画・運営をする際の参考にさせていただきたいと思っております。

## 参加者感想

独立行政法人  
労働者健康安全機構  
和歌山労災病院  
田中 眞美

今回より変更の1,000字での抄録まとめに困惑しましたが、プレゼンテーションは9分50秒で仕上げることができました。また、基調講演で述べられた日本看護協会の将来ビジョンに合致した内容の取り組みができていたことを実感し、満足の得られた学会でした。ただ、9分の予備プザーでプチパニックをおこしてしまい、質疑応答に課題が残りましたがよい経験となりました。貴重な経験をさせていただき感謝いたします。

那覇市医師会  
那覇看護専門学校  
専任教員  
平田 勝己

学会を開催する事で専門的知識の学びになる事は当然ですがそれと同時に7月に受けた大きな災害への復興支援になってくれるのではないかと両方の想いを抱きながら日本看護学会看護教育学術集会に参加させて頂きました。個人的には無事発表を終えフロアーからの質問も頂き興味関心を持って頂いた事を嬉しく思います。またレモンに関する研究には深く興味を持ちました。続報が聴けることをとても楽しみにしております。

公益財団法人  
東京都保健医療公社  
荏原病院  
三宅 麗奈  
車 美愛

学会には何度か足を運んだことはありましたが、発表者として参加するのは初めてでした。発表するまでの道のりはとても長く、辛くて逃げだしたくなるのがほとんどでしたが、当日はあっという間に終わった感覚と同時に1年半の頑張りに対する達成感も味わえました。同じテーマで発表されている方の話にも共感が持てました。自分自身にとってスキルアップにもなる素敵な経験ができたことに深く感謝しております。広島県には初めて足を踏み入れました。とても暑かったのですが、食事も美味しく素敵な場所でした。2泊滞在しましたが、旅行気分を味わえました。

1日目  
8月16日

- 開会式
- 基調講演  
「未来を自分でつかむ  
～自ら成長する看護職～」  
講師：福井 トシ子 (日本看護協会 会長)
- 交流会Ⅰ  
「キャリアをどうデザインし  
紡いでいくか  
～挑戦する看護職のセルフ  
プロデュースに学ぶ～」  
講師：福田 裕子  
(まちのナースステーション  
八千代統括所長)  
角田 直枝  
(茨城県立中央病院・茨城県地域  
がんセンター看護局長)
- 交流会Ⅱ  
「チャレンジしよう！看護研究」  
講師：土師 知行  
(倉敷中央病院顧問  
県立広島大学名誉教授)  
関根 小乃枝  
(厚労省医政局看護課看護教育  
体制推進官)
- 緊急レポート  
「認定看護師制度の  
さらなる発展に向けて  
～新たな認定看護師制度～」  
講師：福井 トシ子 (日本看護協会 会長)
- 口演発表40題
- 示説発表110題

学会企画

交流会Ⅰ ●座長 山内 京子 (広島文化学園大学看護学部学部長・教授)

まちのナースステーション八千代 統括所長 福田裕子氏と茨城県立中央病院・地域がんセンター 看護局長・がん看護専門看護師 角田直枝氏のお二人に、これからの看護職として、私たちにどのようなことが求められ、期待されているのか、看護職としての自分自身をどの様に育てていくことができるのかを、ご両名の看護職としての軌跡を振り返りながら、本音と建て前(現実的にはどうしても)の両面から、お話を頂きました。100歩も1,000歩も私たちの先を歩きながら、私たちにエールを送ってくださるその姿勢に、フロアからは度々の共感の笑いが起こり、あちこちで見られた頷き反応に、充分な手応えを感じることであった60分という短くて内容の濃い交流会でした。



2日目  
8月17日

学会企画

シンポジウム ●座長 山本 雅子 (広島大学病院副院長・看護部長)

「保健師、助産師、看護師の特性を活かしたキャリアラダーと人材育成」をテーマに開催されたシンポジウムを担当しました。保健師、助産師、看護師のそれぞれの立場から人材育成におけるキャリアラダーの開発とその活用、さらに今後の展望等について自施設の現状を踏まえてご発言頂きました。同じ看護職ですが、知りえない人材育成の現状やキャリアラダーの考え方などを知る良い機会になりました。いずれの職種であっても人材育成における課題は同じであり、いかにその職種にコミットできるように動機づけをし、育成していくかが重要であると感じました。最後のセッションでしたが、参加者も多く会場からも発言があり有意義な時間になりました。



- 特別講演  
「未来に向け伸びる力を育てる」  
講師：山出 久男  
(サンフレッチェ広島・アカデミー 部長)
- 交流会Ⅲ  
「看護教育の質を保证する  
モデル・コア・カリキュラム」  
講師：斉藤 しのぶ  
(千葉大学大学院看護学研究科 准教授)  
任 和子  
(京都大学大学院医学研究科 教授)
- シンポジウム  
「保健師、助産師、看護師の  
特性を活かしたキャリア  
ラダーと人材育成」  
講師：山野井 尚美  
(岡山県保健福祉部健康推進課課長)  
森本 俊子  
(聖隷浜松病院 総看護部長)  
岡本 充子  
(社会医療法人近森会理事  
統括看護部長・老人看護CNS)
- 口演発表39題
- 示説発表108題
- 閉会式



参加者からの声

- ・参加者が多く、大盛況だと思いました。看護への熱意を共有でき、活力となりました。
- ・今回初めて学術集会に参加させていただきました。病棟に学びを持ち帰りたいと思えるものも多く、本当に多くの刺激を受けました。
- ・3つのCを名付けた、メインテーマの命名が良かったと思います。
- ・カープ色のポロシャツがとても良かったです。元気が出ました。
- ・スタッフの方が笑顔で対応され、とても感じが良かったです。赤のユニホームは明るくて良かったです。

《宮城県看護協会からのメッセージ》

日本看護学会看護管理学術集会が開催された仙台会場から(主催/宮城県看護協会・日本看護協会)、平成30年7月豪雨の災害から復旧復興を祈るビデオレターのメッセージが届きました。



# “地域を看護する”訪問看護

広島県看護協会訪問看護事業局 局長 佐久間 美保子

訪問看護ステーションでは、訪問看護の提供の他に、地域の中で様々な活動をしています。  
今回はその活動の一部を紹介します。

地域の中の身近な看護職として、地域住民の方々と繋がることができるよう、講演会や勉強会等を通して交流を深めています。地域の方々の求めに応じて、在宅医療や訪問看護について話をさせていただく機会も増えてきました。最後まで住み慣れた地域で過ごしたいという思いを叶えられるよう、地域の中の様々な場面で活動しています。



白木公民館で、地域住民の方々に在宅看取りの講義をしています。



訪問看護師として、サービスマネジメント担当者会議に参加しています。看護の視点から発言します。

ケアマネジャーや相談支援専門員が招集する担当者会議では、主治医を含む多職種が集まり、療養者・家族が望む生活と自立に向けた支援について検討しています。中でも、がん末期や難病の療養者、医療的ケア児への支援は、きめ細やかな対応と多職種連携が必要となります。互いに信頼しあえる関係づくりとチーム力の向上に向けて、共にがんばっています。

各地域で訪問看護ステーション連絡会が立ち上がっています。地域ケアシステムにおいて、多職種との連携強化はもちろん、地域の訪問看護ステーション同士が繋がり、共に質の向上に取り組んでいくことが大変重要になっています。地域の訪問看護ステーションがお互いを知り、課題の共有や今後の取り組み等を話し合い、有意義な活動ができています。



安佐北区訪問看護ステーション連絡会での研修の場面。在宅医療の最新の知識・技術を、共に学んでいます。



訪問看護ステーションでは、1年間で延べ1,300人の看護実習生を受け入れています。

学生は在宅実習を通し、療養者は生活者であり、そこには住み慣れた家と歩んできた歴史や大切にしている価値観があることを学んでいます。

在宅実習の一場面。  
その人らしい支援の在り方を学びます。

# 広島県 健康福祉局からの お知らせ

♥♥♥ 看護の動き最前線 ♥♥♥

## 今年も業務従事者届の実施年度です

広島県健康福祉局医療介護人材課 主査 加登 亜紀子

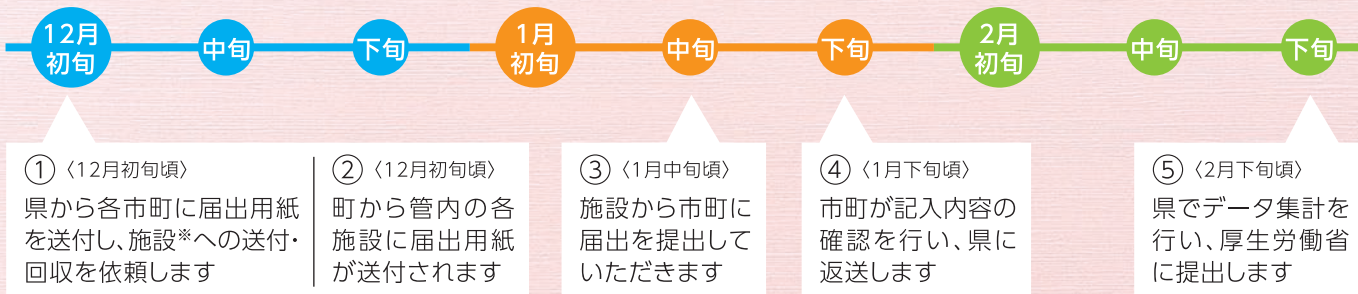
業務に従事している看護職員は、保健師助産師看護師法第33条の規定により、2年ごとに12月31日現在における氏名、住所その他厚生労働省令で定める事項を届け出ることが義務付けられています。

今年も、2年に一度の「業務従事者届」該当の年です。今回は「業務従事者届」についてご紹介します。

### 届出の概要

基準日[2018年12月31日]に広島県内において業務に従事しているすべての保健師、助産師、看護師及び准看護師が、氏名、免許の種別、登録番号、就業場所等を届け出する必要があります。

### 実施方法〈スケジュール〉



\*施設:病院・診療所・助産所、介護老人保健施設及び社会福祉施設等をいいます。

※看護師等学校養成所には県から直接用紙を送付し、届出は県に提出していただきます。

結果は厚生労働省において全国集計され、衛生行政報告例として公表されるとともに、就業している看護職員の実態を把握し、需給バランス等看護職員確保対策に係るデータとして活用されます。

県においては、2016年12月末現在の届出数42,904人を現状値とし、2023年には就業看護職員数が45,276人となるよう、「**養成の充実・強化**」、「**離職防止**」、「**再就業促進**」、「**専門医療等への対応**」を柱とした事業に取り組んでいます。

各施設管理者の皆さまには就業しておられる看護職員の方への制度周知を、看護職員の皆さまには届出へのご協力をよろしく願います。

### 平成30年7月豪雨災害に伴う 災害支援ナース派遣に対する御礼

平成30年7月12日から8月末まで、延500人を超える看護職員の皆さまに、県内8か所の避難所で多くの被災者の方々の健康管理や衛生管理に御尽力いただきました。暑さ厳しい中、本当にありがとうございました。

また、看護職員の皆さまが所属されている医療機関、看護師等養成所の皆さまにも、派遣に御理解と御協力をいただき、この場をお借りして御礼申し上げます。

看護に関する情報満載のサイトを開設しています

看護職ってどんな仕事?

どこで学べばいいの?

ぜひご覧ください

そんなときは、広島県の「看護」が詰まった総合情報サイト「**ひろしまナース♥ネット**」をご覧ください。

先輩たちが各職種の魅力を紹介するムービーや、現役看護職員によるリレーメッセージ、広島県内の看護学校・養成所情報や奨学金情報など、役に立つ情報が満載です! ぜひアクセスしてください!

ひろしまナースネット

検索

[www.pref.hiroshima.lg.jp/site/nurse-net](http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/nurse-net)



### 訃報

永年にわたり本会名誉会員として、協会の発展に多大なご貢献をいただきました 栗栖 ミツエ 様 (享年92歳) が、平成30年9月21日にご逝去されました。

ここに心から哀悼の意を表し、謹んでお悔み申し上げます。

## 子育て 奮闘記



広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院  
看護科 平本 梨恵

## 娘・息子からのエール

私には小学1年生の娘と年長の息子がいます。「早く帰って来て欲しい。児童館に迎えに来て欲しい」という娘からの言葉で、働き方を変えようか日々悩みます。職場では忙しいスタッフの手伝いもできず、家のこともできず、中途半端な自分の立場に時々、心苦しくなります。仕事を辞めようか迷ったとき、先輩から「帰ってきてくれてありがとう」の一言。自然と涙が出て心が軽くなりました。職場のスタッフ、夫の協力のもと仕事を続けることができていますが、「早く帰って来て欲しい」という一言が、残業を減らす一番のエールになっています。

## 職場から子育て応援

### ワークライフバランスを大切に

広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院 西8階病棟 看護科長 宮本 英美

平本さんは病棟内で中心的役割を担っており、多職種とのチーム活動にも積極的に関わってもらっています。また学生指導や新人・中堅看護師のサポートもしてもらい、私だけでなく病棟スタッフにとっても平本さんは欠かせない存在です。お子さん2人を育てながら仕事も頑張っているため、仕事と育児が両立できるよう科長として支援していきます。今後も平本さんがワークライフバランスのとれた働き方が出来るよう病棟全体で支援していきたいと考えています。



## 学童期の子育てQ&A



子どもが学童期に入ると、働くママ達には新たな悩みが増えてきます。そこで、仕事と子育てを両立している先輩ママに学童期の子育てについて聞いてみました。

Q

学童期に入り一番気がかかりだった事は何ですか？

A

保育園から、小学校に入学すると、学童保育の時間が保育園よりも短く、一人でお留守番をさせることも心配でどうすれば良いか悩みました。

子どもが小学校に入学すると同時に子育てと仕事の両立を阻む「小1の壁」。

小学校に入った途端、放課後の預け先に悩んだり、宿題のチェックや、参観日、運動会、家庭訪問などママ達が子どもと一緒にやらなければならないことや参加しなければならない行事もたくさん増えます。

子育てと仕事の両立にはパパや家族のサポート、他にも地域の役所の子育て支援課に相談したり、市民活動支

援センターなど地域のサポートを利用したり、「子どもが何歳になるまで」と期限を決めて働き方を変えるなどの方法もあります。

働くママにはやはり多くのサポートが必要になりますが、それぞれの家庭環境は違うので、各家庭にあったサポートを探してみるとよいのではないのでしょうか。

しかし、働くママ達はすでにたくさんの情報を集めて実践している方も多いと思います。

他にもこんなママ達もおられました。我が子は一人でお留守番をさせると、不安になりママを探しに家から出てしまったことがあるため我が子はお留守番はとても無理だと思い、働き方を変えたというママ。反対に我が子は思っていたよりしっかり者で、お留守番ができそうだから、何かあった時のために、電話の使い方を教えたり、玄関の呼び出しベルが鳴っても出ないように教えてお留守番をさせることにしたママなど、我が子の性格も考えながら学童期をどう乗り越えるかを決めるママもいるようです。

広報委員 山本 愛 (国家公務員共済組合連合会 吉島病院)

## 日々の現場の困りごと相談

看護師職能委員会 委員 関 喜久子 (広島原爆養護ホーム 倉掛のぞみ園)

10月21日に「専門看護師(CNS)、認定看護師(CN)と地域のことを語り合おう」と題し、第1回看護師職能研究会を開催しました。5領域(がん看護、慢性疾患看護、精神看護、小児看護、災害看護)のCNSと4領域(皮膚・排泄ケア、摂食・嚥下障害看護、感染管理、緩和ケア)のCN、在宅看護・福祉分野で働く看護師、委員を合わせ51名が参加しワールドカフェを行いました。

参加者は日々のケアで生じた疑問や困りごとを記入した付箋を持って、興味のある領域のCNS、CNや他施設の看護師と対話し、そ

の内容を全員でシェアしました。初の試みであるワールドカフェによる研究会は、参加者が多様な意見に触れ、新しい気づきや困りごとを解決する糸口を得る場となり、またCNS、CNは現場の声を聴き今後の活動の示唆を得る機会となりました。

自宅や施設で人々が適切なケアを提供され安心して暮らすためには、地域のCNS、CNと看護師が連携できるシステム作りが課題であることを共有しました。



II 領域職能委員会の活動報告



ワールドカフェで得た意見をシェアする参加者

## 准看護師研修会

## 進学に関する気がかりをサポート

看護師職能委員会 委員 田島 美穂 (医療法人和同会 広島シーサイド病院)

准看護師が看護師資格を取得するための情報を得る機会とすることを目的に、7月28日、『准看護師研修会』を開催しました。初めに古本副会長より社会と医療の背景を受け、ぜひ進学し、キャリアを伸ばして地域で一緒に活躍をして欲しいと期待を話されました。

今年度は、広島県医療介護人材課よりさまざまな進学支援についての情報提供がありました。さらに、定時制・全日制・通信制を卒業した先輩看護師より経験を踏まえて学校生活や進学体験について語られ、参加者は熱心に聞かれていました。



情報交換の場では経済面、子育てとの両立、体力や学力の不安、仕事をしながらの学生生活やそれぞれのカリキュラムの特徴など情報交換が行われました。途中笑いが起こるなど、和やかな雰囲気でした。

参加者から「アドバイスを具体的に頂いた」「同じ気持ちの方たちと交流できて良かった」等の感想があり、今後も継続して開催する必要性を再確認しました。

和やかな雰囲気で行われたグループワーク

## 認知行動療法【基礎編】に参加して

開催日：平成30年8月23日（木）9:50～16:00  
場 所：広島県看護協会大研修室  
講 師：国際医療福祉大学 成田看護学部看護学科 教授 岡田 佳詠



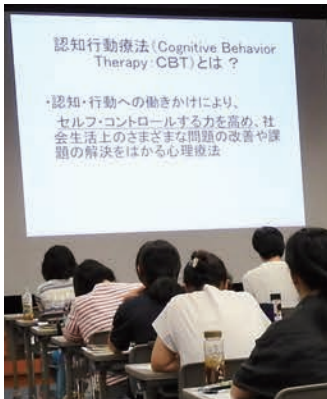
岡田 佳詠先生

8月23日、広島県看護協会で開催された「認知行動療法 基礎編」の研修会が開催されました。

認知行動療法とは、認知・行動への働きかけにより、セルフ・コントロールする力を高め、社会生活上のさまざまな問題の改善や課題の解決を図る心理療法のことです。うつや不安障害などの精神疾患だけではなく、がんや糖尿病などの身体疾患、自身のストレスマネジメントにも効果があります。

認知・行動のスキルを学ぶため、個人でワークシートの作成をしました。最近、気分が動揺した場面を振り返り、自身の認知や行動の傾向について考えるという内容でした。ストレスを感じた時、「現実の受け取り方」や「ものの見方」を変えることで、心が軽くなることを学びました。問題を解決する方法を学習し、臨床現場で取り組んでいきたいです。

文：広報委員 菅原 まり子（たかの橋中央病院）  
撮影：広報委員 宮下 清美（国家公務員共済組合連合会 呉共済病院）



## 豪雨災害から改めて思うこと

助産師職能委員会 委員 空 聖子（独立行政法人 労働者健康安全機構 中国労災病院）

7月の豪雨災害では多数の被害があり、改めて自然災害の恐ろしさを痛感しました。自施設は断水や交通網の遮断など、地域全体が孤立状態になりました。そのため産婦に救急車両が通行できる事を伝え、他院の受診困難産婦に対して、医師と連携を図りながら分娩を行いました。『分娩は絶対に受け入れる』という病院としての役割を実行できるように、スタッフ一丸となって取り組んでいきました。産婦さんからは「病院が見えた時はホッとした」「病院で生む事ができて良かった」などのお声を頂き本当に良かったです。その中で、改めて

『自助・互助・共助・公助』の必要性を感じました。

その後も、自然災害の被害は続いています。助産師職能委員会では、11月10日に『周産期の災害対策』について研究会を開催しました。今後、県域全体でのネットワークを深め、連携が図れるように取り組んでいきたいと思ひます。





広島北支部



9月8日社会経済福祉研修会

## 心が元気になる! を目指した活動

広島北副支部長 秋広 直子 (JA広島厚生連 吉田総合病院)

広島北支部の研修事業・交流事業では、「ヒーリング・ミュージック」「臨床宗教師」「アロマテラピー」「フラワーセラピー」など、心が元気になる癒しの内容を企画しています。研修会場では、毎回すっきりとした笑顔が多くみられ、「日ごろの疲れが癒されました」「明日からまた頑張れます」という感想をいただいています。現場で頑張る看護師には笑顔を大切にしてもらいたい! と考え、これからも活気あふれる支部活動を行います。

廿日市支部



## ボーリング大会で連携強化!

廿日市支部 開智 健司 (広島西医療センター)

廿日市支部では各施設間の交流をより深めるという目的でボーリング大会を7月22日(日)に開催し、27名の参加がありました。最初は緊張気味でしたが、そこはコミュニケーション能力に優れた看護師集団、ゲームが進むにつれてハイタッチなどで大いに盛り上がり、あっという間に2ゲームの争いが終了しました。結果はJA広島総合病院、大野浦病院、アマノリハビリテーション病院、阿品土谷病院4名の混合チームが優勝に輝きました。

三原・尾道支部



## 支部活動再開! 「BLS研修」開催

三原・尾道支部長 秋田 伸江 (尾道市立市民病院)

平成30年7月豪雨の被災以降、休止していました支部活動を9月より再開しました。9月8日にBLS研修を開催し、18名の参加がありました。インストラクターによる迫力あるデモンストレーションがあり、受講者はBLSをはじめ気道内異物除去法、気管挿管の介助の実技に熱心に取り組みました。今後は、「ヘルシーワークプレイス」の実現に向けた研修会を予定しています。災害に負けないよう会員との絆を深めながら、以前のように活気ある支部活動を目指します。

認定看護師が教える

## 看護のコツ



東広島地区医師会 賀茂台地訪問看護ステーション  
認知症看護認定看護師 川本 雪江 (非常勤職員)

## 認知症の人の力を 引き出す看護

認知症になると記憶、判断などの認知機能障害によって生活に困難を生じます。また、認知症の症状は周囲から理解されにくく、それに加え認知症の人が持つ力は低くみられる傾向にあります。認知症看護では、本人の立場にたった視点で認知症の人を理解すること、本人が持つ力をアセスメントして過不足ない支援を届けることが重要です。その看護実践には、認知症の人の言葉に耳を傾け、その体験世界を想像すること、生活の営みを先入観なく観察する力が求められます。それと同時に、本人が長年培った生活習慣や価値観等を知ることも欠かせません。このような看護の積み重ねが認知症の人が持つ力を引き出し、本人が主体となった生活の実現に繋がると考えます。



広報委員の おすすめ書籍

今回のおすすめ書籍は、周防柳(すおう やなぎ)さんの「八月の青い蝶」です。原爆により人生を翻弄された主人公が、病床で少年時代を回想する形で「あの夏」が描かれています。人それぞれが背負っている様々な人生の歴史に配慮しながら看護をしたいと、しみじみ感じ入る作品でした。

広報委員 田中 孝枝 (広島通信病院)



『八月の青い蝶』  
周防 柳 (著)

災害等による研修の開催変更について

地震・自然災害等によるやむを得ない事態が発生した場合、研修会の開催を中止、または延期や時間変更等を行うことがあります。事前に予測が可能な場合は、本会ホームページでお知らせします。受講前にホームページを確認してください。

めざせ! キャリアアップ /  
研修会のご案内

●継続教育部からのお知らせ  
平成30年度は、申込期間を下記のとおり設定いたします。

■申込方法 A の研修会

研修開催月	申込期間
平成31年1月	11/1~11/20
2月	12/1~12/20
3月	1/1~1/20

※申込方法B・Cおよびその他の研修は、各研修の申込期間をご確認ください。

平成30年度から研修受講履歴管理が始まりました!

研修受講時には、**会員証**(プラスチック版)を必ずご持参ください。



■申込方法と受講料納入方法

	申込方法
A	協会指定の払込取扱票で受講料を納入(1名1研修につき1枚の払込取扱票が必要)
B	申込用紙BをFAXまたは郵送(様式はホームページで入手可能)
C	申込用紙Cと返信用封筒(82円切手貼付:長形3号)を郵送→選考後に受講料を納入

■申込方法 A の研修会

開催日時・会場	研修会名	申込期間
H31.2/4(月) 9:50~16:00	No.48 在宅における呼吸管理	12/1 ~12/20

※掲載分以外の研修会や詳しい研修内容・研修領域・研修段階(能力項目を含む)等は、広島県看護協会ホームページ(<http://www.nurse-hiroshima.or.jp/>)または「平成30年度広島県看護協会教育計画」でご確認ください。

※申込方法Aは必ず協会指定の払込取扱票(申込方法A専用)をご利用ください。記入漏れにご注意ください(研修日、受講動機など)。

※申込期間後に定員に満たない研修は、定員に達するまで受け付けますので、必ず空き状況をお問い合わせのうえ、お申込みください。

※(広島)もしくは会場明記がない場合・・・(広島県看護協会)(福山)・・・各研修の【開催日時・会場】欄を確認してください。

※広島県看護協会以外への直接のお問い合わせはご遠慮ください。

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

■申込方法 C ・その他の研修会

開催日時・会場	研修会名	申込期間	参加条件・その他	申込方法
H31.1/30(水) 9:50~16:00	No.102 医療コンフリクト・マネジメント	4/1~ 11/30	医療安全管理担当者	C 郵送 受付
H31.2/2(土),3(日) 全2日 9:50~16:00	No.25 禁煙支援ナース研修	4/1~ 12/2		C 郵送 受付
H31.2/16(土),17(日) 全2日 9:50~16:00	No.28 周術期看護	4/1~ 12/16		C 郵送 受付

研修会開催日を変更しました!

研修会名	変更後		変更前	
	開催日時	申込期間	開催日時	申込期間
No.26-2 がん症状マネジメント<福山>	H31.1/19(土) 9:50~16:00	11/1~ 11/20	11/10(土) 9:50~16:00	9/1~9/20



大河の一滴 ~ 表紙の写真 / 第49回 日本看護学会-看護教育-学術集会~

「水のありがたみは、井戸が枯れるまで誰にも分からない」イギリス歴史家トーマス・フラーの言葉です。身近にいる人や物は、失って初めて、その大切さに気づくという意味です。7月の豪雨災害で水は私たちの生活から日常を奪いました。昨日まで当たり前であった日常の大切さや、自分の周囲の人たちの大切さをあらためて感じました。今日あるものが明日必ずあるとは限らない。一日一日、その一滴一滴に心をこめて、目の前の患者さんたちと向き合って行きたいと思えます。(高橋 紀子)

発行所  
公益社団法人広島県看護協会  
〒730-0803 広島市中区広瀬北町9-2  
TEL.(082)293-3362  
発行責任者 川本 ひとみ  
編集 広報委員会  
制作 有限会社パル